NETIS登録番号		技術名	称 bask	バスク工法				
QS-110009-A		副題	既設モル	既設モルタル吹付法面を剥ぎ取らずに、老朽化・劣化に対して補修を施し、長期的な延命を図る補修・保護の再生コ			を図る補修・保護の再生工法	
分類1 分類2	共通工 コンクリート		面工 ンクリートエ	吹付工 モルタ モルタル工 モルタ	ル吹付エキー	-ワード:モルタ	ル吹付法面補修	
開発目標	票	既設のモルタル吹付法面を剥ぎ取らずに、有効利用し無駄にしない。						
技術の位置付け	□ 推奨	足技術	□ 準推奨技術	■推奨技術 □ 活用促進技術 □ 設計比較対象技術 □ 少実績優良技術				
特許	✓ 有り	(特許番号)	: 第4891062号)	1062号)			□ なし	
技術賞,審査証明等 🗌 ものづくり日本大賞 🔲 国土技術開発賞 🗌 学会賞 👚 建設技術審査証明								
	会社名 株式会社FURUN)		TEL	092-632-8860	
問合せ先	住所 北九州市		之九州市八幡西	5八幡西区樋口町3番9号			furuno@ray.ocn.ne.ip	
	担当者 金森 正		森 正行	行				
実績件数	責件数		通省	その他の公共機関		E	民間等	
H26.3月現在	2件			213件			9件	

技術概要:(300字以内)

バスクエ法は、既設の老朽化したモルタル吹付を剥ぎ取らずに、ガラス短繊維入り高濃度樹脂モルタル(バスク)の材料特性(伸縮性・密着性・接着力の高さ)を活かし、既設モルタル吹付面上の亀裂補修、背面に空洞がある場合はグラウト材を空洞充填して、地山と一体化させ、さらに既設モルタル面全体に難透水性の効果が得られるバスクを薄く被覆することで、既設モルタルに負荷を与えずに劣化進行を防止して、延命を図る補修工法である。

特長

1.産業廃棄物の抑制(剥ぎ取りを必要としない・リバウンドが極小)

3.狭い施エヤード(大規模な吹付プラント等は使用しない)

5.工期の短縮(工期の大幅な短縮)

2.最小限の交通規制(大規模な仮設防護柵が不要)

4.工事費の節約(従来技術の75%程度の経済的な工法)

6.環境コストの削減(使用機械が小型のため、CO2排出量の削減)

[施工手順]

- 1. 法面洗浄工A(高圧洗浄 25MPa/cm2)
- 2. クラック拡張工(U字形カット 幅10mm×深さ15mm)
 - 3. クラック補修工(拡張部下地処理+中詰)
 - 4. 削孔工(背面注入用 ϕ 40mm·千鳥配置)
 - 5. 背面注入工(セメントミルク・無加圧)
 - 6. 法面洗浄工B(高圧洗浄 25MPa/cm2)
 - 7. 表面下地処理工(スーパーボンド吹付)
 - 8. 表面被覆処理工(バスク吹付、t=2mm)

[断面図]

既設モルタル

ラス金網

地山

処理クラック(幅0.6mm以上)

未処理クラック(幅0.6mm未満)

既設水抜きパイプ 閉塞の場合復元

施工事例



着工前



完 成